

幸消防団だより

第57号

発行 平成28年2月

川崎市幸消防団

団長 高橋 克明

印刷所 (株)川崎三省堂

題 字：山田 吉三郎

輝かしい新年を迎え

幸消防団 団長 高橋 克明

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、平素から消防団活動の推進に熱心に取り組まれ、地域の安全・安心を守るために、ご尽力を頂いておりますことに、深く感謝を申し上げます。

さて、我々消防団員は、火災、風水害、地震等の大規模災害等から、地域住民の生命、身体財産を守るため、昼夜を問わずに努めております。

しかしながら、近年、消防団員の高齢化に伴い退団者が増加する一方、入団者が減少し、定員確保が困難な中、特に女性の入団がなく、女性消防団員も年々減少傾向にあります。このため、1月10日に行われました平成28年幸地区消防出初式では、女性消防団員を前面に出しての徒歩分列行進・消火ホースキットによる消火操法と一斉放水を展示し存在をアピールいたしました。今後、地域住民の防災意識をより一層高めるために、通常の防災訓練等の他、子供に対する防災教育が重要となります。

そして、女性消防団員の果たす役割はとても大きく、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」によって、地域の総力を結集した地域防災力の充実ということに繋がって行くと考えています。色々な地域の消防活動に女性消防団員を積極的に活用して頂き、各地域の皆様、地元の皆様の中から消防団への入団を促し、「自分たちの地域は自分で守る」ということを広く認知して頂きたいと存じます。

結びに、私たち消防団員は、気持ちを新たにし、幸区の安全・安心を守るために、消防団三原則である「隣保共助」「郷土愛護」「犠牲奉公」と自分たちの地域は自分で守るということをお誓いし、新年の挨拶といたします。



消防出初式で団長の謝辞



優良消防団員家族表彰の授与



蒲田庶務部長指揮する分列行進

輝かしい新春に向けて

幸消防署 署長 村上 公憲

新年おめでとうございます。

幸消防団員の皆様、ご家族の皆様におかれましては、輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

先般、挙行いたしました幸地区消防出初式では、幸消防署と幸消防団の一体となった消防力を、地域の皆様にご披露し、防火・防災に向けた消防の意気込みを、しっかり伝えることができ、成功裏に終了することができました。皆様のご協力に、心から感謝を申し上げます。

さて、昨年の国内の災害発生状況を顧みますと、9月の関東・東北地方豪雨をはじめ、台風などの自然災害が相次ぎ、尊い人命と貴重な財産が失われたところであります。

また、各地で火山活動が活発化し噴火警戒レベルが引き上げられるなど、住民生活に脅威を及ぼしており、自然災害の恐ろしさを改めて思い知らされた一年でありました。

幸消防署管内におきましては、台風などによる自然災害はありませんでしたが、火災が57件発生し、一昨年より16件の増加となり、過去十年間の記録を更新する火災の多い年となりました。

今後も幸消防団と一丸となり、「火災を無くし、安全で安心して幸せに暮らせる幸区」を目指し、火災予防の広報・普及啓発活動、放火防止対策など地域に密着した消防対策を推進して参りますので、皆様方には本年も引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

結びに、幸消防団のご発展とご活躍を祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



出初式での署長式辞



園児へ記念品贈呈

各分団長抱負



第1分団 分団長
細谷 三康

あけましておめでとうございます。

昨年に発表された1年間を象徴する漢字は『安』という文字でした。世界で頻発するテロ事件や異常気象など、人々を不『安』にさせた年。建築偽装問題やメーカーの不正が発覚し、暮らしの『安』全がゆらいだ年。“『安』心してください”のフレーズが流行するなど人々が『安』心を求めた年ではなかったでしょうか。皆様が安心して暮らせるよう頑張っておりますので、今後ともご支援ご協力をお願いいたします。



第2分団 分団長
中村 泰司

新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

昨年4月に、分団長の拝命を受け始動しましたが、右往左往の9ヶ月でした。

新年となり、心新たに第2分団の絆を一層強固なものにし、地域の皆様の安心・安全・安眠のため、日々訓練に努力、精進し消防団活動を郷土愛護の精神で邁進してまいりますので、今後とも、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。



第3分団 分団長
松井 満

明けましておめでとうございます。

日頃より地域の皆様方には、消防団活動に対し多大なるご理解とご尽力をいただき深く感謝申し上げます。

本年も、大規模自然災害に備えた消防団活動や地域に密着した幅広い活動を行い、今後の社会環境の変化や消防団の現状を踏まえつつ時代に即した体制を考えておりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



第4分団 分団長
村石 勉

新年明けましておめでとうございます。

平成28年の新春を迎え、本年の第4分団は地域の皆さんの最も近い「最初の砦」として住民の皆さんと協力して「オール日吉」でより安全・安心な町を目指します。

さて、消防団からのお願いですが、今現在、消防団の危機的定員割れが続いており、次の世代に伝える経験談、熟練値を持った幹部団員は高齢に伴い次々退団していきます。丁寧な説明をしますので人材紹介をよろしく願います。

平成27年度 幸消防団活動状況

「防災は あなたの心の 備えから」

(平成28年川崎市消防出初式統一標語)



テロ対策訓練の一面



ラゾーナ川崎プラザで消防フェア



出初式で消防団員等による一斉放



文化財防火デー訓練

受賞おめでとうございます

【神奈川県知事表彰】

●永年勤続功労消防団員（20年）

第1分団 部長 新城 正規
 班長 秋元 純一
 第2分団 団員 荒川富美男
 団員 高橋 弘治
 第3分団 団員 戸田 功
 第4分団 班長 阿久津信儀

【川崎市長表彰】

●永年勤続功労消防団員（15年）

第1分団 団員 矢吹 大介
 第2分団 班長 堀内 朋春

●優秀消防分団

第2分団

●退職消防団員功労者表彰

元 副団長 金澤 松夫 様
 元 第3分団副分団長 吉田 正次 様

【消防団長表彰】

●優良消防団員

第1分団 団員 小菅 良喜
 第2分団 団員 森 里美
 第3分団 団員 竹生 和文
 第4分団 団員 三橋 庸史

●優良消防団員家族

第1分団 細谷 良子 様

●優良消防分団

第1分団



年末火災特別警備督励巡回

平成27年秋の褒章

受賞おめでとうございます



藍綬褒章 本団庶務部長
 蒲田 賢 様

消防団
 三原則
 一、隣保共助
 一、郷土愛護
 一、犠牲奉公

編集後記

幸消防団だより五十七号をお届けします。
 発行に当り、関係各位のご寄稿に深く感謝致します。

発行責任者 高橋 克明
 編集 幸消防団広報部

広報部長 幸消防団広報部
 第一分団 中 西 善博
 生 村 雅子
 沼 方 清子
 第二分団 坂 井 貴一
 遠 藤 幸恵子
 第三分団 三 原 多子
 菅 原 幸子
 第四分団 青 木 真弓

消防団員募集

幸消防団では新規団員を募集しています。

資格 幸区内在住、在勤の満18歳以上の健康な人

・特別職の公務員として活動中の負傷などは
 公務災害として補償されます。

・班長以上の階級に3年以上あった団員は
 防火管理者の資格を得ることができます。

問合せ先 幸消防署予防課 電話 (511)0119
 FAX (544)0119